

工学部 建築学科

■目的・目標

建築学科は、感動的で機能的な建築空間、地震に強い建築構造、ヒートアイランド現象などの都市環境問題、文化遺産を次世代に伝える保存技術など、さまざまな視点から魅力的で安全な都市や建築の創造に取り組む建築家や建築技術者を育てます。そのための専門コースとして<建築・都市デザインコース>と<構造・環境エンジニアリングコース>を用意しています。

■アドミッションポリシー

町歩きが好き、模型づくりが好き、写真が好き、こうした好奇心とともに「建築の世界でスペシャリストとして活躍したい」「かけがえない自らの個性を伸ばしたい」という強い意思を持つ皆さんを待っています。

■カリキュラムポリシー

建築学科では、学生それぞれの個性や興味ある分野、さらには就きたい仕事にあわせ、一人ひとりが自分にふさわしいカリキュラムを組んで学ぶことができるよう、教育プログラムを工夫します。

1. 入学時から、建築への興味を生かす体験学習（「建築表現入門」など）と、数学・物理・英語を専門と関連づけて学ぶ融合科目（「建築物理入門」など）による充実した基礎教育。
2. 21世紀の技術者に求められる、コンピュータを活用した表現技術（「建築デジタルデザイン」など）と実践的な英語力（「建築英語」など）の養成。
3. 将来の職業や建てたい建築の夢を実現する専門教育とコース設定。<建築・都市デザインコース><構造・環境エンジニアリングコース>
4. 4年次の卒業計画では研究室に所属し、設計製図や実験・研究に取り組み、自発的な課題発見と企画力・総合力を養成。
5. 製図室には一人ひとりに専用の製図台を備え、いつでも設計製図に取り組める環境を用意。デジタルデザイン室などCADのためのコンピュータ環境も充実。

■ディプロマポリシー

建築学科は、知識と技術に裏打ちされた状況把握能力、判断力、行動力、創造力・発想力を兼ね備えた建築の専門家を育成することを目標としています。このため、講義科目で専門知識を獲得し、設計製図で個性的な創造性を養い、実験実習で問題解決能力や発想力を養います。4年次の必修である「卒業計画」において、1年間、指導教員の下で、じっくりと研究・設計に取り組み、総合的な建築力を身に付けることを卒業要件とします。